

【基本方針】

「地域高齢者が住み慣れた土地で自分自身のために、少しでも長く生活する事ができるよう支援し、人生を楽しんで頂く」

【年間目標】

- ① 介護保険の動向を把握した上で、地域包括ケアの一端を担う(介護・リハビリテーション)事を推進する
- ② 安全に事業運営を行う事が出来るよう、万全な感染症、災害への対策を実施し、ご利用者が安心し、毎日の運動を行う事が出来る
- ③ 様々な運動機器を使用する事及び多岐に渡る運動プログラムを実施する事で、自立支援、重度化防止を推進する
- ④ 安定した事業運営を行えるよう、介護人材の確保。また、職員の働き方の見直しを図ることが出来るよう ICT の活用を推進(介護現場の革新)する
- ⑤ 安定した事業経営を行えるよう、①から④の年間目標を外部に PR し、営業強化を図る。半期にて黒字転換する事を目標とする

【実践報告】

- ① 介護保険の動向を把握した上で、地域包括ケアの一端を担う(介護・リハビリテーション)事を推進する
 - ・自宅でも行える内容の体操を考案し、ご利用者のニーズに合わせて日替わりで実施
 - ・機器運動のみならず、複数名での作業療法やボードを用いての脳トレーニング、口腔体操を実施し他者との交流を持てる時間を設け実施
 - ・希望により徒歩送迎を受け入れる。(単独、付き添い)2名実施
- ② 安全に事業運営を行う事が出来るよう、万全な感染症、災害への対策を実施し、ご利用者が安心し、毎日の運動を行う事が出来る
 - ・職員、ご利用者双方に対しスタンダードプリコーションの実施と徹底。日々の体調管理を実施し、体調変化の報告があれば、速やかに受診し感染症の確認が実施できたが、双方感染症への罹患はあったものの、事業所内への感染症の持ち込みを防止することが出来た
 - ・利用時、送迎時にご利用者またはご家族の体調の確認を行い職員間での情報交換、共有を実施し、異常の早期発見に努め、ご利用者からの感染症への相談について助言することが出来た
 - ・法人との連携による災害・火災避難訓練を実施し、職員、ご利用者への周知徹底を行う事が出来た
- ③ 様々な運動機器を使用する事及び多岐に渡る運動プログラムを実施する事で、自立支援、重度化防止を推進する
 - ・個々のご利用者のニーズや ADL を把握し、日常生活が向上できる体操やレクリエーションを実施する。また、ご利用者も自宅で行えるようパンフレットを作成しお渡

しする。介護度変更者3名内2名は介護度の軽減あり

- ④ 安定した事業運営を行えるよう、介護人材の確保又、職員の働き方の見直しを図ることが出来るよう ICT 機器の活用を推進する
- ・デイ会議を毎月実施し、業務改善や課題について話し合い、改善に向けた取り組みをすることが出来た
 - ・2月に退職者2名人事異動2名あったものの、残った職員に自覚の意識が芽生え取り組みへの改善案や実施に向けての発言が増え、前向きに取り組むことができた
- ⑤ 安定した事業経営を行えるよう、①から④の年間目標を外部にPRし、営業強化を図る。半期にて黒字転換する事を目標とする
- ・活動内容をまとめた通信を月に1回作成し、実績提出と共に営業活動を実施
 - ・随時新たな取り組みなど関係各位へFAXや訪問による活動の実施
 - ・ご利用者の日々の様子や変化など些細な情報でも担当ケアマネージャーと共有できるよう情報提供を実施した
 - ・年度末に一日平均ご利用者40名の目標であったが、平均10名で稼働率は16%と目標を達成することが出来なかった。

【神戸市への報告を必要とした事故】

報告件数：0件

【苦情件数】

苦情件数：0件